

たった今進化した 必殺技を 君に捧ぐよ

2~4人用

約10分

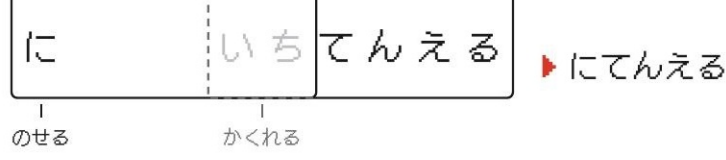
対戦

▶2箱あれば8人まで遊べます。



このゲームは

ひらがなが書かれたカードをズラして重ね、その場で新しい必殺技を作るゲームです。
「いちてんえる」に「に」を重ねれば「にてんえる」。
文字を足し、消し、書き換えて、高得点を目指そう！



内容物

■ = 基本カードのしるし



基本カード 16枚(4種類×4セット)



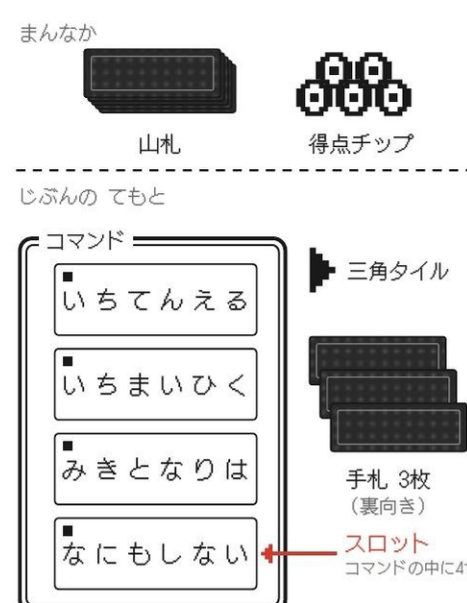
ことばカード 64枚

三角タイル 4枚

得点チップ 付属していません。

説明書 1枚(これ)

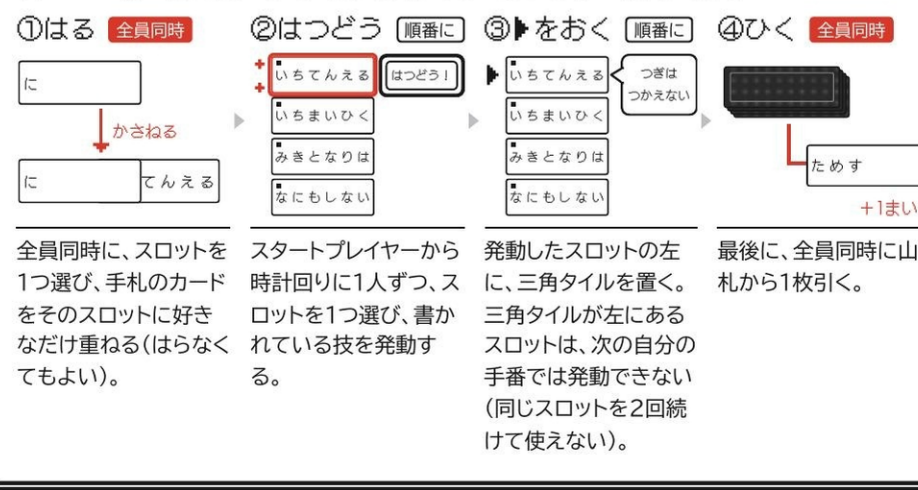
準備



- 基本カードを4種類に分け、各自1枚ずつ受け取る。
- 受け取った4枚を、左図のように自分の前に縦一列に並べる。これが「コマンド」で、1枚ずつが「スロット」。
- ことばカード64枚をよく混ぜて、裏向きの山札にする。
- 三角タイルを各自1枚、手元に置く。
- 全員0点からスタート。
- 全員、山札から3枚ずつ手札を配る。手札はほかの人に隠してかまいません。
- 「すばやさ」が高い人からスタート。たとえば、このボードゲームに先に来た人。以降、時計回り。

手番の流れ

次の4つを順に行う。①と④は全員が同時に、②と③は1人ずつ順番に行う。



全員同時に、スロットを1つ選び、手札のカードをそのスロットに好きなだけ重ねる(はらなくともよい)。

スタートプレイヤーから時計回りに1人ずつ、スロットを1つ選び、書かれている技を発動する。

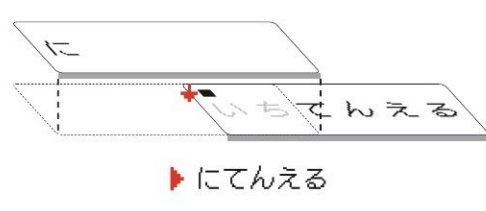
発動したスロットの左に、三角タイルを置く。三角タイルが左にあるスロットは、次の自分の手番では発動できない(同じスロットを2回続けて使えない)。

最後に、全員同時に山札から1枚引く。

カードの重ね方

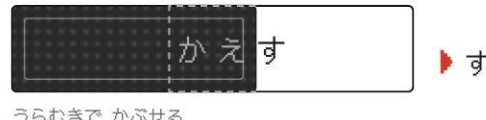
■ズラして重ねる

技は、スロットに横一列に並んだ文字を、左から右に読みます。カードを横にズラして重ねると、下になったカードの文字が隠れます。どのカードを重ねてもかまいません。



■裏向きにして消す

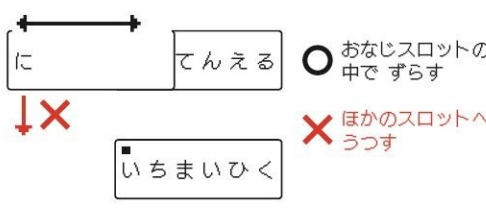
手札のカードを裏返してかぶせると、その部分の文字を消せます。



■はるのは1つのスロットだけ

はるときは、スロットを1つ選んで、そのスロットに重ねます。1手番で、手札から何枚でも追加してかまいません。

すでに重ねたカードは、同じスロットの中なら動かしてかまいません。ほかのスロットへ移したり、2つのスロットを組み合わせてもかまいません。



■読みかえ

カードには濁点・半濁点が印刷されていません。読むときに、自由に付けたり外したりしてかまいません。小文字(やゅょ)も同じです。



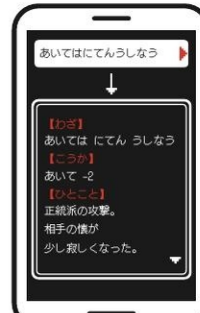
効果の判定

日本語として読めれば、書いてあるとおりに実行します。読めないときは、効果は発動せず「ふはつ」に終わります。

解釈が分かれるとき、ルールに書いていない効果が生まれたときは、ゲームマスター、またはGM代わりのAIに技を見せて判定してもらいます。プレイヤー同士で「アリ/ナシ」を決めることはしません。

得点は0より下がりにません。

ここにQRコード GM代わりのAIは、このQRコードから使えます。Googleのアカウントだけが必要です。



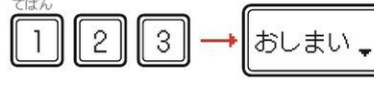
ゲームの終了

次のいずれかでゲームが終わります。

- 全員が3回ずつ手番を行った。
- 山札が尽きた。

終了したとき、いちばん点の多い人の勝ちです。

同点のときは、それぞれ「最近勝ったエピソード」を話し、より強かった方の勝ちです。



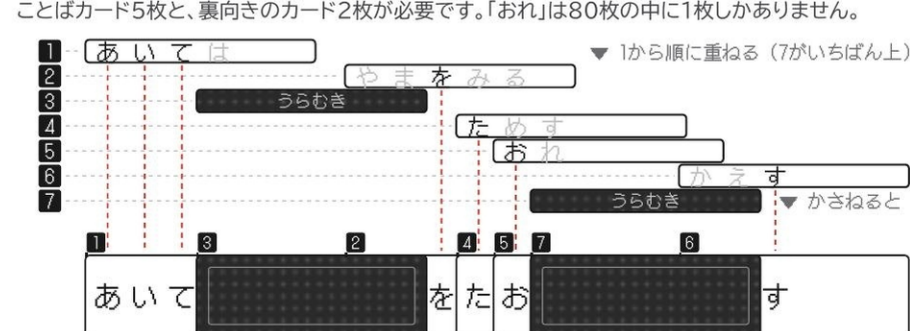
レシピ

■いちばん簡単な技 [に] + [いちてんえる] → [にてんえる]

■いちばん速い技 あいて/を/た/お/す → [あいてをたおす]

[あいては] [やまをみる] [ためす] [おれ] [かえす] + [うら] [うら]

ことばカード5枚と、裏向きのカード2枚が必要です。「おれ」は80枚の中に1枚しかありません。



この2つのあいだは、自分で見つけてください。▼

クレジット

ゲームデザイン ケンチャンヌ & アソビ舎ドラ 協力 RESPAWNの皆様 制作 たのし〜が